

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 アールビバン株式会社
 コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 樋口 弘司
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5783-7171

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,398	9.4	879	33.7	977	41.4	598	36.2
25年3月期第3四半期	4,021	△7.6	658	68.8	691	59.0	439	76.1

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 654百万円 (19.4%) 25年3月期第3四半期 548百万円 (172.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	45.78	—
25年3月期第3四半期	33.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	17,605	13,292	75.5	1,016.50
25年3月期	16,910	12,834	75.9	981.46

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 13,292百万円 25年3月期 12,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	3.2	920	31.1	950	25.7	520	△19.6	39.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当期純利益の前年同期比が大幅にマイナスになっている理由につきましては、前期のアールビバン株式会社におきまして、住民税・事業税の欠損金が解消することに伴い、税効果会計の法定実効税率を見直したことにより繰延税金資産の計上を134百万円行ったため、税効果会計適用後の法人税等の額が税金等調整前当期純利益に対し著しく少なかったためであります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	15,463,816 株	25年3月期	15,463,816 株
26年3月期3Q	2,386,612 株	25年3月期	2,386,612 株
26年3月期3Q	13,077,204 株	25年3月期3Q	13,077,218 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクスによる雇用・給与所得増加に向けた政策効果や2020年度東京オリンピック開催への期待がみられるものの、円安の影響による仕入価格やそれに関連する原油価格・電気料金の上昇等によるコスト増が懸念されるなかで、本年四月からの消費税引上げによるマインドの低下、更に株価や為替の変動による先行きにも不透明感が見られ、景気を持ち直しのテンポは緩やかな状況となっております。

このような状況の下、当社グループでは、引き続き、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるように営業活動を推進し、基幹の「アート事業」を中心に積極的な営業展開を行ってまいりました。また、経営資源の集中と組織の効率化をテーマに、コスト削減に努め、収益力の改善に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,398百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業利益879百万円（同33.7%増）、経常利益977百万円（同41.4%増）、四半期純利益598百万円（同36.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、新企画「ディズニードリームアートフェスティバル」の開催などにより、従来に引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力をいたしました。また、イラストグッズ販売におきましては、12月にグッズ専門店として8店舗目を秋葉原に出店するなど、新規顧客の獲得及び取扱いアーティストのブランド化に努めてまいりました。

この結果、売上高は2,984百万円（同10.7%増）、営業利益は529百万円（同20.8%増）となりました。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入斡旋事業を中心に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は535百万円（同0.7%増）となり、営業利益は319百万円（同10.0%増）となりました。

◆リゾート事業

「タラサ志摩ホテル」におきまして、本来の強みである「タラソセラピー」やヘルシーな食事・快適な運動・リラクゼーションの3要素を組み合わせた「トータルヘルスプログラム」など心と体をテーマにしたコンセプトの確立に注力することにより地元競合ホテルとの明確な差別化を図り、存在感のある「タラサ志摩ホテル」を追求し、収益力のアップを目指して運営をいたしました。

この結果、ブライダルの挙式数がやや低調だったものの、客室の販売が前年を上回ったことにより、売上高は587百万円（同40.5%増）となり、営業損失は11百万円（前年同四半期は137百万円の営業損失）と前年同期と比べ損失幅が大幅に縮小いたしました。

◆健康産業事業

フィットネスクラブ「カルナ フィットネス&スパ 柏」におきまして、引き続き、ホスピタリティ精神を大切に質の高いサービスの提供及び新規会員の獲得数アップと既存会員の退会防止に主眼をおいた営業活動を推し進めてまいりました。

しかしながら、前期途中におきまして2店舗撤退したことにより売上高は296百万円（同21.7%減）となり、営業損失は23百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は15,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ679百万円増加いたしました。これは主に、営業貸付金が142百万円減少し、現金及び預金が735百万円、受取手形及び売掛金が60百万円、それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は1,871百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が28百万円減少し、投資有価証券が36百万円、敷金及び保証金が15百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は17,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ695百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,133百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円増加いたしました。これは主にその他流動負債が83百万円減少し、未払法人税等が167百万円、短期借入金が162百万円、それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は179百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主に退職給付引当金が9百万円増加し、役員退職慰労引当金が25百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,312百万円となり、前連結会計年度末に比べ237百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は13,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ458百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が402百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は75.5%（前連結会計年度末は75.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月8日に公表しました通期の連結業績予想に変更ございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,767,696	3,503,060
受取手形及び売掛金	6,525,197	6,586,194
営業貸付金	764,551	621,645
商品及び製品	3,642,113	3,666,419
仕掛品	5,204	6,823
原材料及び貯蔵品	26,107	29,575
前払費用	84,143	66,031
繰延税金資産	1,057,155	1,065,996
その他	364,975	375,001
貸倒引当金	△181,807	△186,070
流動資産合計	15,055,338	15,734,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,405,971	1,410,217
減価償却累計額	△1,056,858	△1,072,698
建物及び構築物（純額）	349,113	337,518
土地	227,722	227,722
リース資産	3,990	8,670
減価償却累計額	△1,862	△2,460
リース資産（純額）	2,128	6,209
建設仮勘定	1,083	—
その他	359,456	358,004
減価償却累計額	△289,230	△288,862
その他（純額）	70,226	69,142
有形固定資産合計	650,273	640,592
無形固定資産		
その他	3,359	4,303
無形固定資産合計	3,359	4,303
投資その他の資産		
投資有価証券	505,975	542,211
敷金及び保証金	178,915	194,015
繰延税金資産	279,373	251,205
その他	304,858	296,842
貸倒引当金	△67,978	△57,938
投資その他の資産合計	1,201,145	1,226,336
固定資産合計	1,854,779	1,871,232
資産合計	16,910,118	17,605,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,412	292,657
短期借入金	209,000	371,508
未払法人税等	149,068	316,485
前受金	1,021,651	976,786
割賦利益繰延	1,561,173	1,573,192
賞与引当金	52,292	27,074
返品調整引当金	31,756	23,540
その他	635,420	552,384
流動負債合計	3,887,775	4,133,629
固定負債		
リース債務	2,234	6,519
退職給付引当金	36,076	45,976
役員退職慰労引当金	25,230	—
資産除去債務	121,824	123,747
その他	2,223	3,060
固定負債合計	187,588	179,303
負債合計	4,075,363	4,312,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	5,675,320	6,077,856
自己株式	△1,328,892	△1,328,892
株主資本合計	12,708,730	13,111,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126,023	181,710
その他の包括利益累計額合計	126,023	181,710
純資産合計	12,834,754	13,292,977
負債純資産合計	16,910,118	17,605,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	4,021,043	4,398,952
売上原価	1,694,923	1,775,741
売上総利益	2,326,120	2,623,210
販売費及び一般管理費	1,667,985	1,743,493
営業利益	658,135	879,716
営業外収益		
受取利息	577	2,702
受取配当金	4,414	5,617
投資事業組合運用益	1,243	20,488
貸倒引当金戻入額	814	—
為替差益	16,327	60,644
その他	16,331	12,527
営業外収益合計	39,710	101,980
営業外費用		
支払利息	3,385	1,875
不動産賃貸費用	1,005	1,211
その他	1,892	995
営業外費用合計	6,283	4,082
経常利益	691,561	977,615
特別利益		
固定資産売却益	—	8,562
特別利益合計	—	8,562
特別損失		
固定資産売却損	88	—
固定資産除却損	1,326	193
減損損失	39,998	11,528
特別損失合計	41,413	11,722
税金等調整前四半期純利益	650,148	974,455
法人税、住民税及び事業税	107,132	371,026
法人税等調整額	103,572	4,735
法人税等合計	210,705	375,761
少数株主損益調整前四半期純利益	439,443	598,694
四半期純利益	439,443	598,694

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	439,443	598,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108,815	55,686
その他の包括利益合計	108,815	55,686
四半期包括利益	548,259	654,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	548,259	654,381
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,696,872	526,968	418,324	378,877	4,021,043	—	4,021,043
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	4,297	—	—	4,387	△4,387	—
計	2,696,962	531,266	418,324	378,877	4,025,431	△4,387	4,021,043
セグメント利益 又は損失(△)	438,095	290,422	△137,473	△1,906	589,139	68,995	658,135

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額68,995千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は39,998千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,984,561	529,705	587,900	296,784	4,398,952	—	4,398,952
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	5,366	—	—	5,456	△5,456	—
計	2,984,651	535,072	587,900	296,784	4,404,409	△5,456	4,398,952
セグメント利益 又は損失 (△)	529,238	319,403	△11,588	△23,030	814,023	65,693	879,716

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額65,693千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」及び「健康産業事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は6,903千円及び4,625千円であります。